

こども体験フェスティバルふくおか 2026 に出展 ～こどもたち 43 名がタブレットや白地図を使い地域安全マップを作成～

日本損害保険協会九州・沖縄支部(委員長：谷口 徹 損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員)では、8 月 19 日(水)に福岡国際センター(福岡市)で開催された「こども体験フェスティバルふくおか 2026」にブースを出展し、事前に申し込みのあった 43 名のこどもたちと地域安全マップを作成しました。

このイベントは、こどもたちに体験活動を提供する機会を創出すること等を目的として、公益財団法人福岡県青少年育成県民会議が主催、共催が福岡県、後援が福岡県教育委員会で開催され、35 の団体、教育機関、企業等が体験ブースを出展しました。当日は約 2,000 名の小学生が来場しました。

当支部では、来場者とともに白地図やぼうさい探検隊※専用のタブレットを使い、各児童の小学校の通学路における危険な箇所等を確認し、地域安全マップを作成する企画を実施しました。マップを作成したこどもたちからは、「楽しかった。信号を守らないといけないと思った。」や「通学中でも、地震が起こったときには避難する。」など今後の登下校等で注意したいことについて気づきの声がありました。

九州・沖縄支部では、関係機関や教育機関とともに、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



※「ぼうさい探検隊」とは

子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラム。2004 年度 から「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催し、今回で 23 回目。自治体や行政等への提言により実際に危険箇所が改善された事例もあり、地域安全力向上の一助になっている。